

吉永まちづくり計画

みんなで支えあい住みやすい吉永を目指して

平成24年3月

吉永自治区

も く じ

1	はじめに	1
2	吉永地区の現状と課題	2
3	産業の現状と課題	3
4	自治活動・地域づくり活動の現状と課題	4
5	吉永地区の将来像	6
6	資料	
	(1) 吉永むらづくりアンケート集計結果	7
	(2) 吉永むらづくりアンケート	11

はじめに

平成 14 年、地域的な共同活動を通して良好な地域社会の維持及び形成に資することを目的に「吉永自治区」が立ち上げられました。以来、区長を中心に区役員、組長、吉永地区公民館、吉永婦人会などと一体になって、全国的にも少子高齢化が進む中、「ふるさと吉永」をもっと住みやすくしたい、有害鳥獣被害から農業を守りたいなどの区民の声に応えるため、一歩ずつその取り組みを進めてきました。

しかし、吉永自治区の立ち上げから 10 年を迎えた今、区民全員があらためて、吉永地区の歴史や古くから培われてきた文化、風土などを再認識し、未来に向けた歩みを始めなければならない時期に来ています。

当地区の将来を考えるにあたり、この地域で生活するすべての区民全員が積極的に参画して夢と希望のある地域づくりに努めていくこと、人として思いやりの心が持てる環境づくりを推進することが大切です。

当地区は小さな集落ですが、小さいからこそ見える「宝もの」はあるはずで、当然のことながら、課題も多くありますが、区民全員が知恵を出し合えば、解決に向けた取り組みは必ず前進していくでしょう。

ひとり、ひとりの力には限界がありますが、支えあい・助け合うことによってきっと大きな力になるはずで。

今、私たちの住む『吉永地区の将来について、一緒に考えてみましょう。

そして、一歩前に踏み出しましょう。

平成 24 年 3 月吉日

吉永自治区

1 吉永地区の現状と課題

(1) 世帯数・人口の推移

(国勢調査結果数値：各年 10月1日現在)

	昭和 35 年	昭和 45 年	昭和 55 年	平成 2 年	平成 7 年	平成 12 年	平成 17 年	平成 22 年
世帯数	49	46	49	45	44	45	45	46
男	109	102	98	79	69	72	67	61
女	108	107	98	85	78	74	71	68
人口計	217	209	196	164	147	146	138	129

*明治 9 年 吉永誕生 (吉永村、西谷村、内垣村合併)

*昭和 30 年 2 月 1 日 丹後町誕生 (1 町 4 村合併)

*平成 16 年 4 月 1 日 京丹後市誕生 (6 町合併)

国勢調査は大正 9 年から開始されましたが、古い資料がありませんので、丹後町合併後の国勢調査数値を上記のとおり抜粋しています。

上記の昭和 35 年と平成 22 年を比較すると、半世紀という長い期間での比較になりますが、世帯数は△3 世帯 (△6.1%)、人口は△88 人 (△40.5%) となっています。

人口減は高度経済成長時代を経て、全国的な経済環境の変化の中、若者が都市部へと流出したのが大きな原因と考えられます。また、1 世帯当たりの人口を比較すると、昭和 35 年は 4.4 人、平成 22 年は 2.8 人と大きく減少しています。

平成 24 年 1 月 1 日現在、将来を担う子どもの数は小学生 6 人、中学生 5 人、高校性 2 人となっており、また、高齢化率 34.1% (65 歳以上)、敬老会対象者 (平成 23 年度 75 歳以上) は 19 人と当地区も過疎化、少子高齢化が進んでいることが、数字の上からもうかがえます。

(2) 地形

当地区内を府道碓網野線と市道吉永一段線が走るとともに、中央を二級河川「吉永川」が流れています。また、地形上、土石流、急傾斜地の崩壊に係る警戒区域又は特別警戒区域として京都府から11箇所指定されています。

(区域指定箇所：平成21年2月6日 京都府指定)

	区域の名称	自然現象の種類	指定区域の種類
1	上川原	土石流	警戒区域／特別警戒区域
2	松ノ木	土石流	警戒区域／特別警戒区域
3	段尻	土石流	警戒区域／特別警戒区域
4	道ノ上	土石流	警戒区域
5	隠谷	土石流	警戒区域
6	吉永	急傾斜地の崩壊	警戒区域／特別警戒区域
7	吉永神社	急傾斜地の崩壊	警戒区域／特別警戒区域
8	松枝神社	急傾斜地の崩壊	警戒区域／特別警戒区域
9	松ノ木橋東下	急傾斜地の崩壊	警戒区域／特別警戒区域
10	松ノ木橋東上	急傾斜地の崩壊	警戒区域／特別警戒区域
11	内垣	急傾斜地の崩壊	警戒区域／特別警戒区域

2 産業の現状と課題

(1) 農業

当地区の産業は、従来から水稻主体の農業が行われてきており、経営形態はほとんどが小規模経営で、高齢化が進む中、一部の担い手農家に農地が集積しています。また、パイプハウスや新規作物の導入などの取り組みはあるものの、遊休地や荒廃地の拡大や有害鳥獣被害の増大が最大の課題となって

います。

吉永農事組合（組合員 32 人）では、課題克服するために国などの補助事業を実施して環境整備を推進していますが、一部、整備農地の遊休化等もあり、後継者育成も含めて 5 年、10 年先の将来を見据えながら、地域ぐるみの取り組みが必要となっています。

（2）織物業

織物業は昭和 30 年代半ばから農業との兼業の中、最盛期には地区の半数以上にあたる世帯が織物業に携わってきましたが、生活様式の変化や構造的な不況により、現在では僅かとなっています。

3 自治活動・地域づくり活動の現状と課題

（1）自治活動・防災

当地区は地縁団体で、区長、区役員、組長を中心に地区運営が行われており、総会のほか役員・組長合同会議を定期的に行い、事業計画、課題等の検討を行っています。自治組織として十分な機能は有していますが、中長期的な視野にたった将来を見据えた取り組みを考える時期に来ています。

また、重要な地域防災については、自主防災組織（吉永自治会自主防災会平成 20 年設立）が、毎年、地元消防団等の協力を得て「区民総参加の防災訓練」を実施しています。

就業形態の多様化から昼間に地元で働く消防団員が少ない状況にあるため、今後、ますます自主防災組織の活動は重要となり、「地元は地元で守る」という取り組みが必要となってきます。

(2) 公民館活動

地域の生きがいづくりを担う組織は吉永地域公民館であり、会員には区役員、組長をはじめ、シニアクラブ、婦人会などの各種団体、老若男女が参画しています。納涼盆踊りの夕べ等を通して、地域のつながり、世代間交流を通してコミュニティづくりの取り組みを積極的に展開しています。

(3) 社会基盤整備

当地区内の府道碓網野線と市道吉永一段線については、今後も引き続き、道路拡幅や道路側溝等の整備を行う必要があります。また、二級河川「吉永川」の護岸改修等の整備は、防災面はもちろん、農業振興にも不可欠なものであり、引き続き、京都府、京丹後市に要望していく必要があります。

また、当地区は土砂流、急傾斜の崩壊に係る警戒区域又は特別警戒区域に指定されていることから、台風や大雨などの災害に備えて日頃から災害に対する意識啓発を推進していく必要があります。

3 吉永地区の将来像

吉永地区の将来像（10年後）を考える上で、実際に生活している区民の思いや意見を反映させた計画書づくりが重要で、そのためのアンケート調査はもちろん、区役員と各種団体等との懇談会等を実施してきました。

その中での意見を尊重しつつ、「みんなで支えあい住みやすい地域づくり」を目指すための具体的な「吉永まちづくり計画」を作成し、次の事業を実施していきます。

(1) 住みやすい環境づくり

- ①交通安全施設の整備（カーブミラー）
- ②府道、市道の道路拡幅、側溝整備
- ③花いっぱい運動の推進
- ④環境美化活動の推進（道路、河川のゴミ、空き缶等の回収）
- ⑤有害鳥獣被害の防止
- ⑥災害に備えた意識啓発、訓練の実施

(2) 地域の特性を活かしたむらづくり

- ①農地・水・環境保全事業の推進
- ②耕作放棄地の防止
- ③吉永農事組合への活動支援
- ④吉永川、カ石川の環境整備
- ⑤集落周辺山林（里山）の整備

(3) 文化を活かしたむらづくり

- ①秋祭りなど伝統芸能の継続・伝承
- ②公民間活動を通じたコミュニティづくり
- ③各種団体への活動支援

年度別実施計画（吉永自治区）

平成 24 年度	
平成 25 年度	吉永生活改善センター改修事業 花いっぱい運動整備事業
平成 26 年度	吉永作業場改修事業 吉永生活改善センター広場整備事業
平成 27 年度	内垣水道改修事業 太鼓輿改修事業
平成 28 年度	地区内防犯灯改修事業 地区内放送設備改修事業

吉永むらづくりアンケート集計結果

1. アンケート実施

- ①実施 平成 23 年 11 月
- ②配布 42 件
- ③回収 31 件 (回収率 73.8%)

2. アンケートに関する結果

問1. 性別

①男：19	②女：12
-------	-------

問2. 年齢

①20代：0	②30代：1	③40代：8
④50代：7	⑤60代：8	⑥70代：4
⑦80代：3		

問3. 職業（主なものに○を）

①農業：7	②自営業：3	③会社員：9
④無職：8	⑤その他：3	

問4. 家族数（一緒に住んでいる家族数をご記入ください。隠居を含みます。）

①1人：2	②2人：14	③3人：7
④4人：2	⑤5人：0	⑥6人：4
⑦7人：1		

問5. 一緒に住んでいる家族構成

①自分だけ：2	②一世代（夫婦）：12
③二世帯（親と子）：11	④三世帯：6

問6. 現在のお住まいに何年くらいお住まいですか。

①5年未満：1	②5年以上10年未満：0
③10年以上20年未満：2	④20年以上：28

問 7. 吉永地区の住み心地はどうか。

①住みやすい：4
②どちらかと言えば住みやすい：12
③どちらかと言えば住みにくい：15
④住みにくい：0

問 8. 問 7 で①又は②と答えられた理由は何ですか。(複数回答可)

①生まれた時から住んでいる(生まれた場所だから)：10
②自然が豊かで子育ての環境がいい：3
③人情が厚く、人間関係がいい：5
④その他：1

問 9. 問 7 で③又は④と答えられた理由は何ですか。(複数回答可)

①世間が狭く、干渉されやすい：12
②公共施設(市役所、病院)が遠い：8
③スーパーなどの買い物できる施設が遠い：13
④文化施設、娯楽施設がない：4
⑤公共交通が不便：9
⑥有害鳥獣の被害：10
⑦その他：0

問 10. 吉永地区の具体的な課題は何だと思えますか。具体的にご記入ください。

- ①世帯数、人口の減少
- ②各家庭、各個人が住みやすくなるのが一番(地区に何も求めません)
- ③戸数の減少(宅地を提供して戸数を増やす)
- ④ゴミ当番をなくして下さい(時間外の7時30分以降に持ってくる人が多い)
- ⑤有害鳥獣対策(特にサル対策)
- ⑥通院、買い物等に対する交通手段の確保
- ⑦災害時に安心して避難できる場所の確保
- ⑧サル、イノシシ被害で畑作りができない
- ⑨限界集落への加速
- ⑩若い人の負担増
- ⑪老人(?)がゲートボール、お茶、お花などの趣味が行える機会を作る。老人パワーを活かして、吉永地区の安全で清潔な地区にする。

⑫空が広い所の人には心が広いと言われるように環境整備は大切である。その範囲は広く大変であるが、常に行政と連携を持ち、休んではいけない。それが住人の連帯意識にもつながり、よい方向に向かう。

⑬交通機関から遠い。夜間の安全性がない。

⑭区費が資産割になっている部分があるが、家を新築したら割が増えるということで、新たに吉永地内に家を建てようという人が他地域から移り住むことがないので、過疎化が進む一方である。借り入れして家を建てて、区費が高くなり負担が増えるばかりというのは問題である。

問 11. 吉永地区に今後も住み続けようと思われませんか。

①今後もずっと住み続けたい：16
②いったん離れるかもしれないが、いずれは戻ってきたい：1
③現在、一時的に居住しているため、地域外に転居するかもしれない：1
④できるなら地域外に転居したい：2 [理由：ほかに住みやすい所があるかも。行く所がない]
⑤わからない：8

問 12. あなたにとって吉永地区の宝物は何ですか。(複数回答可)

①自然環境：13
②子供たち：8
③人間関係：10
④暮らしやすさ：3
⑤その他：2[なし。現状を良とせずにより向上をめざす]

問 13. 将来、吉永地区がどのような地域であってほしいと思いますか。(複数回答可)

①道路、下水道などが整備・充実された地域：13
②災害、事故のない安全な地域：15
③高齢者などが安心して暮らせる地域：21
④スポーツや文化活動の盛んな地域：7
⑤花いっぱい運動、ゴミ減量などの環境問題に努める地域：3
⑥その他：3[このままでいい。よいことばかり。外灯を増やしてほしい]

問 14. 吉永地区の地域づくりに関するアイデアや吉永自治区に対するご意見などご記入ください。

- ①合併後の市の中心部は発展していますが、周辺の地域では取り残されているような状態です。私は本当に不安に思っています。集落に残っている人が中堅となって過疎の村を少しでも活性化していくことを願います。
- ②水田の灌水路改善について、コンクリート灌水路が老朽化して漏水し、水田がその影響を受けている。止水して灌水路の底部補修などによる改善が望まれます。(沖田松枝より西に向かう農道の左側水路で過去数回、短時間で凝固するコンクリートを用いて水路の横を固め水留めしたが、動く水への処置で十分ではなく、先般、混ぜる水にセメント防水剤を加えて、練り施行したところ一定の水溜めあり。その際、水路を見た範囲では水路直下も水は流れていた)
- ③同年代の人同志が元気に語りあう場(会食でも可)を。その中で意見を出し合えたら、いい意見が出るのではないか。
- ④因習にとらわれない自由な地区への取り組みを。
- ⑤常に停滞感、閉塞感をなくす努力。それには区長を先頭に強いリーダーシップとそれらしき情報の提供が必要。
- ⑥昔あった行事を掘り起し、利用してアピールして吉永を広く広めることにより活性化するようにして下さい。上下水道の整備を急いでほしい。
- ⑦全天候型のスポーツ(遊び)ができる施設を。

ふだんの暮らしについてお尋ねします。(下記から1つ〇を付してください)

問 6. 現在のお住まいに何年くらいお住まいですか。

- ①5年未満 ②5年以上10年未満 ③10年以上20年未満
④20年以上

問 7. 吉永地区の住み心地はどうですか。

- ①住みやすい ②どちらかと言えば住みやすい
③どちらかと言えば住みにくい ④住みにくい

問 8. 問7で①又は②と答えられた理由は何ですか。(複数回答可)

- ①生まれた時から住んでいる(生まれた場所だから)
②自然が豊かで子育ての環境がいい
③人情が厚く、人間関係がいい
④その他[]

問 9. 問7で③又は④と答えられた理由は何ですか。(複数回答可)

- ①世間が狭く、干渉されやすい
②公共施設(市役所、病院)が遠い
③スーパーなどの買い物できる施設が遠い
④文化施設、娯楽施設がない
⑤公共交通が不便
⑥有害鳥獣の被害
⑦その他[]

問 10. 吉永地区の具体的な課題は何だと思えますか。具体的にご記入ください。

問 11. 吉永地区に今後も住み続けようと思われますか。

- ①今後もずっと住み続けたい
②いったん離れるかもしれないが、いずれは戻ってきたい
③現在、一時的に居住しているため、地域外に転居するかもしれない
④できるなら地域外に転居したい(理由をお書きください)

[理由:]

- ⑥わからない

吉永地区の地域づくりについてお尋ねします。

問 12. あなたにとって吉永地区の宝物は何ですか。(複数回答可)

- ①自然環境
- ②子供たち
- ③人間関係
- ④暮らしやすさ
- ⑤その他[]

問 13. 将来、吉永地区がどのような地域であってほしいと思いますか。

(複数回答可)

- ①道路、下水道などが整備・充実された地域
- ②災害、事故のない安全な地域
- ③高齢者などが安心して暮らせる地域
- ④スポーツや文化活動の盛んな地域
- ⑤花いっぱい運動、ゴミ減量などの環境問題に努める地域
- ⑥その他[]

問 14. 吉永地区の地域づくりに関するアイデアや吉永自治区に対するご意見など
ご記入ください。

ご協力ありがとうございました